



Amappo



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造りメール

第229号 2021年4月号

SINCE 2002.4.1.



発行日令和3年3月18日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
http://www.sano-k.net/
info@sano-k.net

Enjoy HOME 「福が来る 杏花飯店」

3月1日からリニューアルオープンした杏花飯店さんの本格的中華のテイクアウトメニューが好評です。

「地元の方々に三浦半島で採れる新鮮な食材を使った本格的な中華料理を食べてほしい」という思いからオープンした杏花飯店も今年で6年目を迎えます。アットホームで料理人の顔が見える店内で皆様のご来店を心からお待ちしています。(店長)

杏花飯店 追浜

046(867)0052

テイクアウト弁当出来ます!!



写真はイメージとなっております。

週替わりランチ弁当

A・B・C	950円(税込)
D・E	1,250円(税込)
カキフライランチ	950円(税込)
味噌カツランチ	950円(税込)

※それぞれのお弁当にはサラダ・水餃子・ザーサイが入っています。
※上記以外のお料理の注文も承りません。お電話等で事前にお問い合わせください。

「店内に飾られている福を見つけてくださいね」



中国語で「福が逆さまになる」という意味の「福倒了(フー・ダオ・ラ)」が、「福が来る」という意味の「福到了(フー・ダオ・ラ)」と同じ発音のため、いくつかのエピソードが元となり縁起の良い「逆さ福」「倒福」として飾られるようになりました。

皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます
創業 1960.1.20. **Next100**
創刊 2002.4.1.

介護保険制度を利用した住宅改修工事を担当させていただいたお住まいをご紹介します。

階段に手すりを設置する工事です。築40年ほどの少し急な階段のため、時々ヒヤリと感ずることがあり、今後上り下りがスムーズになるように、手すりを設置したいというご要望です。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

「安心して階段の上り下りができるようになりました」という感想をいただきました。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ビフォー、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。



よこすか文学館

ふんがくかん

<64>

難病による闘病生活の中珠玉の作品を作り続けた横須賀出身の俳人折笠美秋(おりかさ・びしゅう 1934-1990)の作品を紹介します。

君彼 彼
が 処 此
汨 此 第
羅 此 四
や に 回

折笠美秋

美秋の俳句には、文学作品の世界を響かせる句もあります。例えば、中島敦『山月記』と往還する「空谷や詩いまだ成らず虎とも化さず」などがあります。揚句に出てくる〈君〉は実在するのかわかりませんが、〈作者〉の友人で、何か悲憤を抱いているようです。そこから、汨羅江に身を投げた古代中国の憂国の詩人屈原(くつげん)が連想されています。「桜闇」は通常の歳時記にはない語ですが「夜桜」等と比べて〈君〉の心の「闇」がよく伝わります。



洗足学園中学高等学校
教諭 中島正二

横須賀製鉄所物語（建設場所の決定）〈74〉

52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に横須賀製鉄所についてお話を伺いました。

横須賀製鉄所の建設にあたって徳川幕府はフランスに協力を求めました。フランスは了承して事業化に向けての準備に入りました。徳川幕府は建設予定地を相州三浦郡長浦湾としていましたが、フランスのロッシュ公使が自ら予定地を視察したいと申し出ました。横須賀海軍船廠史の元治元年紀によりますと、日本側は小栗上野介、栗本瀬兵衛（栗本鋤雲）、軍艦奉行木下謹吾、浅野伊賀守等が幕府軍艦順動号に乗り長浦湾に向かいます。長浦湾ではフランス公使自らが水深を図り測量しました。その結果、湾内には浅瀬もあり建設用地には不向きだと隣接した横須賀湾に向かいました。ここでも公使が水深を図り測量した結果長浦湾よりも水深は深く、その要害はフランスのツーロン港に類似しているとフランス側が認識し、この地が建設場所の適地として、横須賀湾が建設場所に決定しました。



長浦湾



横須賀港

一方、横須賀製鉄所の建設責任者の選定にあたってフランスでは、フランス本国と公使との協議により当時上海で砲艦の建造に従事していたフランソワ・レオンス・ヴェルニーが適任と判断しました。ヴェルニーは上海で砲艦の建造に従事していましたが、事業が終了するので、横須賀製鉄所建設を担当させることにしました。

そして、ヴェルニーが上海から来るのを待って、フランス公使と徳川幕府老中以下と製鉄所・造船所の設立について議論し「横須賀製鉄所設立原案」が策定されました。

この原案は八節からなっていて、その八節には「日本理事官ヲ仏国ニ派遣セシメ造船所二要スル仏国海軍ノ技工手ヲ雇入シ及機械物品ヲ買収セスムベシ」と記されています。理事官は製鉄所建設に要する人材の確保と機械購入の重要な任務を以てフランスに派遣されることになりました。

（元横須賀市助役 井上吉隆）



「横須賀製鉄所物語」は、幕末の1865年（慶応元年）、江戸幕府の勘定奉行小栗上野介の進言により、フランス人技師フランソワ・レオンス・ヴェルニーを招き、横須賀製鉄所（造船所）として開設され、その後明治新政府に引き継がれ、1871年に完成し、日本の近代化に大きく貢献した横須賀製鉄所を史実に基づきさまざまな角度から再考察することをテーマとしています。

Spring Hana Come.

春がやってきました。「春に風が吹くとスギ花粉が大気中を漂い、車の排気ガスなどとともに体内に入りアレルギー反応を起こし、体内から追い払おうとして、くしゃみが出る。目がかゆくなり、鼻水がいつのまにかたらりと流れ、あわてて鼻をかむ」



豊臣秀吉の大阪城築城を契機に、近隣の町が活気を帯び、木材の需要が高まり、現在の奈良県吉野地方でスギの植林がはじまりました。この吉野スギは、青森ヒバ、木曽ヒノキとともに日本三大美木の秋田スギと肩を並べ、品質の良いスギのブランドとなりました。時は流れ、戦後の日本は、右肩上がり高度な経済成長を遂げ、未曾有の建設ラッシュとなり、急激に伸びた木材の需要を考慮して、30～60年で成長し、比較的育ちやすいスギの植林が全国各地で盛んに行われるようになりました。時は流れ、住宅に使われる木材は、国産材に代わり、東南アジアや北米などから安く入る輸入材が使われるようになり、手間隙かけて育てられた国産材が、外国産の木材に太刀打ちできず、廃業する林業関係者が多くなり、間伐もされずに伸び放題のスギ林が全国各地に広がりました。その間に、農耕民族で穀物や野菜が中心であった日本人の食生活は、動物性脂肪やたんぱく質が中心の食生活に変化し、いろいろな化学調味料も食すようになった結果、日本人は、アレルギーを発症しやすい体質になりました。

そこで、花粉症の撲滅のためにも、国産のスギを使い、リフォームをしましょう。計画的に管理されたスギ林にもどすためにもご協力ください。弊社としましても微力ながらお手伝いさせていただきます。

（すまい造りメール第48号参照）

お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2021」A-9歩ZONE版（永久保存版）を（Blog「Oppamap2021」より）ダウンロードすることができますので、是非ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索